

研究課題「Trousseau 症候群の自然経過に関する多施設共同研究」 に関する情報公開

1. 研究の対象

過去に、悪性腫瘍がある状態で脳梗塞を発症した患者（脳梗塞の発症が悪性腫瘍の診断より先であった方も含む。）

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究では Trousseau 症候群（悪性腫瘍に合併する脳梗塞）と診断された方の、経過や予後を解析し、その特徴を明らかにする。また新しい抗凝固療法が Trousseau 症候群患者の生存期間や脳梗塞再発予防に役立つかどうか併せて検討する。

過去に研究施設に治療を受けた Trousseau 症候群の方が研究の対象であり、研究期間は、2025 年 3 月 31 日までを予定している。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、悪性腫瘍の原発臓器、悪性腫瘍の組織型など。

血液検査項目としては、D ダイマー、APTT、PT、ヘモグロビン量など

4. 外部への試料・情報の提供

名古屋大学附属病院もしくは社会保険中京病院へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で郵送にて行います。対応表は、名古屋大学医学部附属病院の個人情報管理者が保管・管理します。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学・教授・勝野雅央

名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学・准教授・小池春樹

名古屋大学医学部附属病院 脳神経内科・講師・熱田直樹

名古屋大学医学部附属病院 脳神経内科・病院助教・橋詰 淳

独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 脳神経内科・医員・玉腰大悟

独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 脳神経内科・部長・加藤重典

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65、電話 052-744-2391

名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学・臨床試験グループ・橋詰 淳

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学・教授・勝野雅央

研究代表者：名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学・教授・勝野雅央